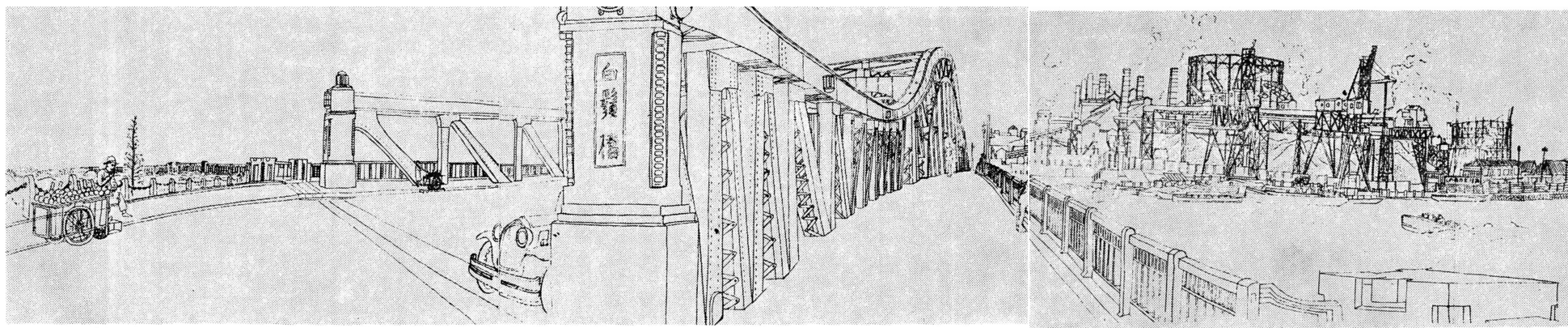




しらひげばし はな 白鬚橋のお話し

白鬚橋は、明治通りができた、1931年（昭和6年）に鉄橋になりました。
隅田川を渡るため、鉄橋まで急な坂を登らなければならませんでした。
途中でくたびれてしまうため、果物売りやアイスクャンディー売りのお店も
出ていたようです。



▲白鬚橋と当時の風景。のんびりとした果物売りとめずらしい自動車が顔を見せている。

上の絵は、版画家の藤牧義夫が描いた昭和10年頃の「隅田川絵図」。白鬚橋から言問団子付近までの墨堤通りの景色をスケッチしたもの。

この掲示は、宮元町会青少年部と子ども会が主催している「宮元探検隊」というゲームのポイント解説です。

ゲーム期間中大切にしてくださいね